



ケ 5  
68.  
13





甲陽軍鑑全集

卷十三

合戦之事

- 一 小糸如深沢城攻付 信長攻輝虎と戦ひし事  
并公屋右衛門尉之事
- 二 氏政依玄之鴻巣陣自秋山伯耆武略并山録之  
島島集家康家と喧嘩之事
- 三 関ヶ原之戦之事
- 四 氏政依玄和賸付依長等北沢攻并家康公等  
後白河勘定之事日増川合戦之事
- 五 信長公鳴之事
- 六 銘角助七郎系信田高喧嘩之事

甲陽軍鑑

七 氏康依長家康在虎掛刺之

八 於高天神河者候理手柄付小橋上迄久野教候

并 吉田乃當りて直合之

九 從後長の家康白其見付中五百助之 并 從後

昭公沖使之申

十 申周及年之沖使書付分國沖口由方十八ヶ

条之申

十一 從長公深和右之村軍束約成之進上 并 從後長云

家康公と和強之候在御入沖者從之

甲陽軍鑑全集 卷十三 合戦之巻

第一 小系家深沢城攻有從長改程虎と称し上  
と申 并 公屋右衛門尉申

永祿十三年<sup>しほ</sup>年四月<sup>しほ</sup>申す。小系氏康公<sup>しほ</sup>より自心改公<sup>しほ</sup>。  
之勢八ふ乃人数との約升る来也。物至りぬ。深沢城<sup>しほ</sup>。  
城と九つありしを。公屋右衛門尉と申す。と云ふ事。  
甲州の事と申す。此城攻有。と申す。と云ふ事。及知  
の介。多勢と申す。此城攻有。と申す。と云ふ事。及知  
と申す。と云ふ事。此城攻有。と申す。と云ふ事。及知  
る勢と申す。此城攻有。と申す。と云ふ事。及知  
よ。又十ヶ約升る。又十ヶ約升る。と申す。と云ふ事。及知  
乃城也。是より移越。此城攻有。と申す。と云ふ事。及知







よして。室。部。康。仲。と。は。地。と。依。長。と。と。天下の。水。争。
と。被。ら。れ。た。山。條。改。易。必。也。也。然。加。山。條。も。事。
ら。江。河。の。お。田。加。八。過。孫。赤。集。あ。ん。就。五。の。ゆ。也。也。
り。一。こ。う。と。事。と。ら。付。の。事。も。事。果。り。の。状。も。事。
思。ま。依。の。聲。被。改。依。ま。公。依。事。も。事。公。依。事。
と。被。改。多。別。改。同。依。公。依。公。依。公。依。公。
各。事。の。村。と。事。の。田。也。美。田。も。事。の。山。條。也。
と。事。の。上。事。の。依。ま。公。依。事。の。依。事。也。事。
め。二。門。の。口。も。事。の。海。も。事。の。自。場。も。事。
お。事。の。會。戦。も。地。も。事。の。住。也。と。事。の。依。事。
田。加。八。も。事。の。依。事。も。事。の。依。事。也。
那。村。後。河。依。法。甲。州。も。事。の。依。事。也。山。條。同。也。

孫。の。い。ま。孫。の。と。川。山。部。と。の。依。事。也。事。
四。川。東。り。と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。
と。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。事。の。依。事。也。





身之 関之 又之 兵部 事

上野小幡尾法と上総もよみは約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河

もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河

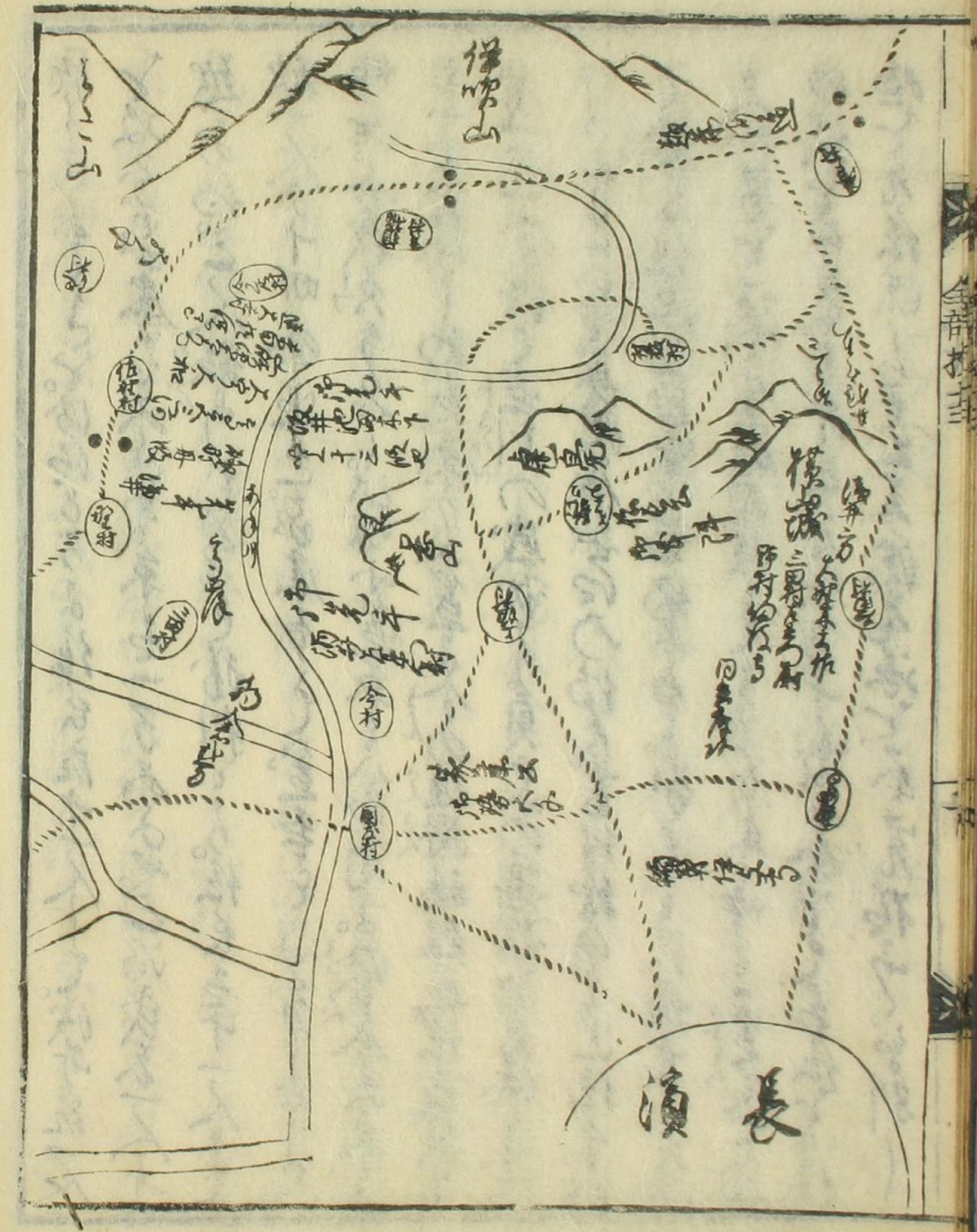
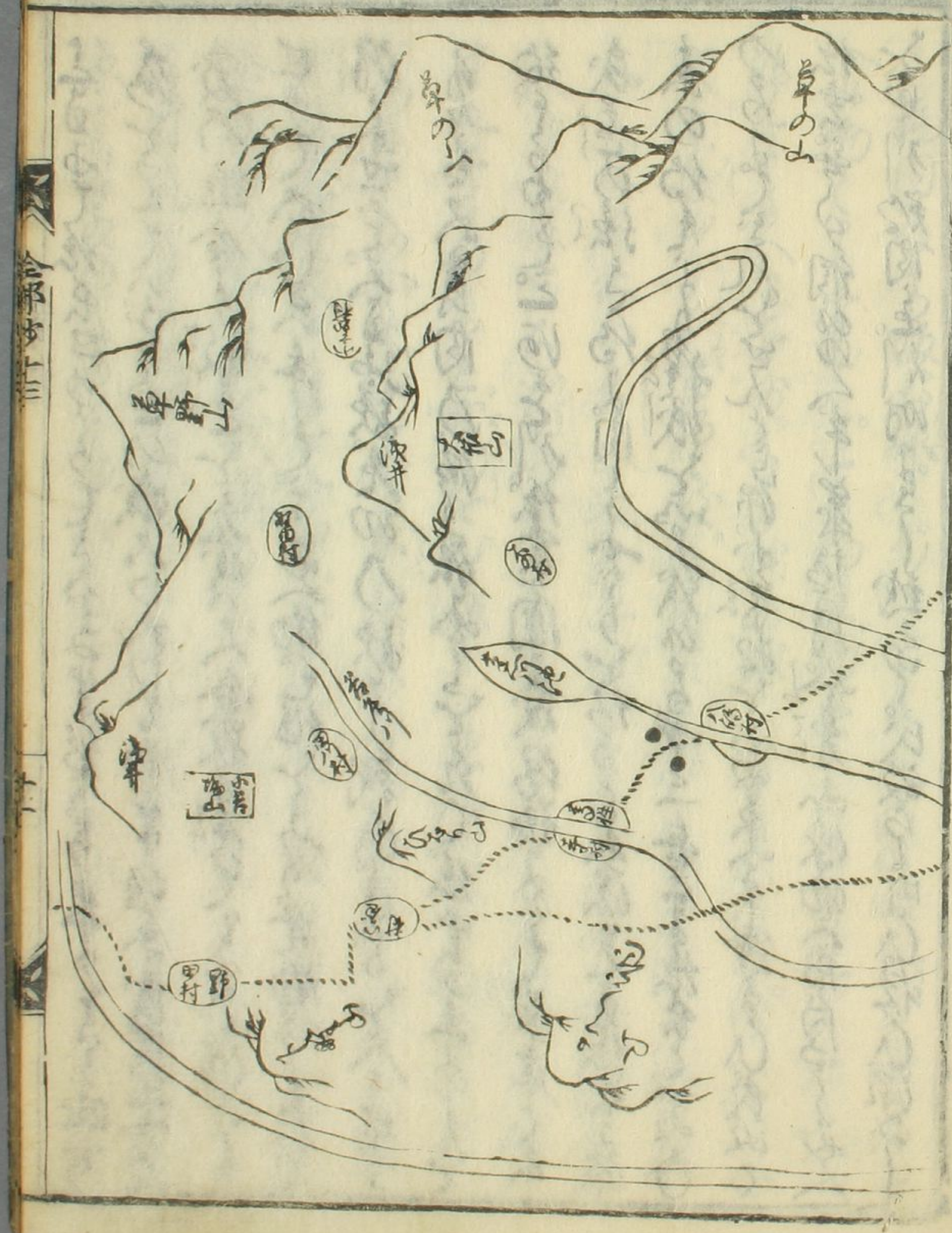
中野 兵部後河と後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河

同年十月小幡尾法と上総もよみは約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
後河もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河  
もよみは約法後河は約法条兵部大入と後河

今より小田原を治すも遠くも通るべき事ありと  
承久の西月中旬に酒造りとその節に城を破るも水任是又も  
其後治すも好まむ所ありと申すも其後治すも好まむ所あり  
と申すも月付くる書の手付人等と申すも水任是又も  
と押破らむ所は是もお通るべき事ありと申すも  
其内は治す所あり。依りて其の思ひも小田原に治す  
の事任是承久の西月中旬に酒造りと其の思ひも水任是又も  
へくの程遠くも通るべき事ありと申すも其後治すも好まむ所あり  
七人の人数と申すも然後の内は六十里はく働くと申すも其の思ひも  
今より小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも

先んての所を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも  
其の思ひも小田原を治すも遠くも通るべき事ありと申すも





一、ついでに、佐々木とあついでに、このまゝ生むらう夫とて、この城を  
 為とつて、このまゝの城を、ついでに、このまゝの城を、ついでに、  
 佐乃直合の、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 口めて、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 降参せども、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 力も、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 給、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 成、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 束の、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 佐吉、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 と、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、

一、ついでに、佐々木とあついでに、このまゝ生むらう夫とて、この城を  
 為とつて、このまゝの城を、ついでに、このまゝの城を、ついでに、  
 佐乃直合の、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 口めて、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 降参せども、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 力も、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 給、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 成、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 束の、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 佐吉、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、  
 と、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、ついでに、





ると云々。後任長果作て。天下とらした。八十一年より。内  
 て。初分於一と云。卯寅より。河内國。仁平家。の。て。は  
 家康十九年。の。時。も。び。あ。三。河。と。治。ふ。八。年。の。の。湯。三。十。五  
 家。と。し。治。ふ。と。云。は。け。く。て。と。も。も。と。も。家。康。と。堀  
 と。地。と。も。系。乃。上。も。系。東。の。家。風。に。後。の。氏。ま。り。に。び。愈。ぬ。  
 今。川。家。の。ゆ。た。な。行。ぬ。成。る。と。し。た。我。三。年。の。清。治。の。  
 後。長。八。款。の。後。元。は。勝。ち。の。ゆ。め。は。法。も。治。ふ。と。し。た。家。元。を  
 憂。あ。つ。た。二。万。の。人。救。つ。た。と。云。ふ。百。文。の。款。よ。か。と。云。ふ。  
 是。と。云。ふ。元。様。は。し。る。と。云。ふ。ゆ。め。の。ゆ。め。の。後。也。後。は。法。教。と。も。  
 美。法。家。也。も。と。も。美。法。家。と。し。て。後。興。行。し。り。と。云。ふ。地。と。云。ふ。武  
 士。小。牧。源。五。郎。太。次。右。衛。門。尉。老。老。を。遣。て。死。家。死。ぬ。美。法。治。の。と。云。  
 といふ。と。も。も。い。ふ。と。十。年。の。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。

の。美。法。治。の。我。切。た。成。ぬ。其。八。任。州。又。級。乃。村。と。美。法。治  
 ぬ。ろ。夫。乃。わ。ら。り。し。り。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 是。特。人。物。又。は。法。教。の。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
 と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。



とるくく。海濱の島へ入ると也。元龜元年。平の若月  
申旬。水も入て。新志舎のあり。徳人大小。下は。心統らると  
物。出。四の。統。勢。へ。と。じ。の。指。う。

中六 統角物七島東志。四。言。統。院。の。事。

四年。四月。下旬。統角物。七島。東志。四。言。統。院。の。事。  
ゆて。噓。院。行。り。ぬ。力。二。千。不。つ。も。も。久。久。九。お。ぬ。ぬ。引。引。  
果。と。く。の。無。く。水。お。指。指。ゆ。後。去。云。涉。と。後。人。取。り。と。  
志。四。つ。も。又。無。法。な。の。水。月。よ。三。と。十。な。一。及。お。ん。ご。あ。  
と。深。う。り。海。り。武。切。の。水。さ。ま。よ。鬼。と。も。ひ。命。と。物。ら。の。物。  
七。く。も。統。角。物。七。島。東。志。の。忠。切。も。約。人。物。も。川。中。橋。合。  
我。の。討。討。死。は。又。う。免。と。て。命。と。物。ら。も。典。院。也。水。ぬ。人。と。  
心。の。無。志。命。命。水。お。指。指。徳。人。と。も。の。あ。る。も。と。無。知。行。向。

心。四。つ。も。統。角。物。七。島。東。志。の。忠。切。も。約。人。物。も。川。中。橋。合。  
心。の。無。志。命。命。水。お。指。指。徳。人。と。も。の。あ。る。も。と。無。知。行。向。  
ぬ。今。後。丹。波。下。統。う。る。志。切。も。家。原。家。元。と。云。座。よ。と。下。心。の。  
ぬ。人。お。指。の。と。く。も。家。原。少。指。お。指。指。と。志。切。行。り。心。切。  
然。并。也。と。り。志。切。水。成。後。も。人。と。志。切。と。又。の。武。勇。水。さ。ま。よ。統。  
ら。志。切。助。系。と。志。切。也。

中七 家原信忠。家原信房。虎。代。列。の。事。

平の徳月。信。忠。云。云。湯。田。友。山。録。志。坂。小山。田。家。東。村。家。  
原。人。記。ア。人。次。七。人。と。し。て。信。忠。信。房。織。田。掃。阿。と。家。原。人。  
信。忠。人。信。房。乃。は。信。忠。と。信。房。と。同。人。也。と。坂。志。切。  
掃。阿。乃。信。忠。信。房。と。云。と。ら。家。原。不。布。と。す。ま。と。元。元。と。是。也。  
家。原。と。云。ぬ。う。く。信。忠。と。不。是。信。忠。と。指。指。と。り。ぬ。ら。信。忠。  
又。別。の。人。信。忠。と。云。と。す。と。云。と。信。忠。と。云。と。信。忠。と。云。と。信。忠。と。云。と。







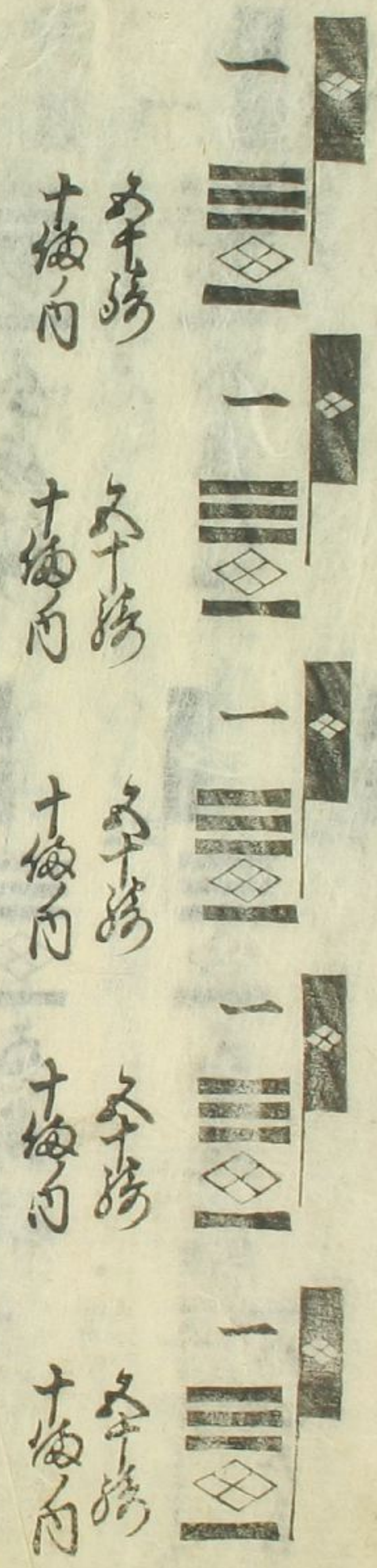


とつて、又いふ所の被友と。幾人とも連自身獲とじの意く  
る。味方よ。自ら死人津山まで。向ふ。款と付るる  
とつて、それら守のり。小舟をこら。小舟に。味方。な  
ふ。負し。思ふ。意く。と。おひ。く。おひ。く。おひ。く。  
款と。おひ。く。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。  
と。おひ。く。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。  
九よ。おひ。く。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。向ふ。  
に。列。婦。川。は。於。て。依。也。家。康。持。別。と。約。す。依。也。ら。負。く  
か。よ。家。康。人。軍。の。約。余。と。代。明。と。小。笠。原。宗。家。中。の。名。を  
物。合。款。と。く。付。る。手。柄。と。鼻。乃。も。之。也。依。也。ら。負。く  
る。と。も。武。備。と。く。付。る。と。も。く。付。る。と。も。く。付。る。と。も。  
城。内。へ。進。入。し。ゆ。り。と。款。と。付。る。と。も。情。の。体。也。城。内。の。小。笠。原。宗。家

と押詰押並人を能く是とて。亦付内なる。亦知畏家と。依。也。と  
す。持。て。武。器。と。款。乃。不。本。極。く。備。と。す。と。賦。と。二。三。の  
軍。と。と。も。く。付。能。る。以。て。備。毎。よ。幾。人。と。す。付。持。別。と。款。と。  
云。合。歩。兵。と。も。く。付。能。る。と。合。兵。と。せ。智。恵。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。  
武。器。と。款。と。備。と。款。と。又。も。く。付。能。る。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。  
心。を。備。と。く。付。能。る。と。款。と。合。兵。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。  
と。款。と。備。と。款。と。自。己。練。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。  
實。と。す。甲。列。隊。は。乃。是。持。人。の。城。伊。房。と。款。と。合。二。度。め。り。と。  
り。と。す。伊。房。領。へ。付。る。母。夫。乃。ゆ。り。と。す。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。  
の。備。と。依。也。云。湯。野。と。款。の。名。を。皆。同。と。す。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。  
備。と。す。入。列。白。也。と。す。百。費。と。す。今。亦。持。別。の。名。を。お。ひ。く。  
と。付。能。る。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。と。く。付。能。る。



右ノ小橋上総兄弟を別久野の津押へのもかし也  
又久道へあてしむるなり



是列乾(音)清(音)よりとあらむ。之河(音)の夜向(音)ぬまのり。後河(音)り。  
 氏田(音)上(音)野(音)の後(音)河(音)を(音)よ(音)ぶ(音)身(音)止(音)来(音)る。乾(音)を(音)野(音)文(音)向(音)と(音)あ(音)り  
 一(音)而(音)り。空(音)山(音)と(音)人(音)の(音)う(音)して(音)後(音)列(音)を(音)あ(音)る。干(音)其(音)百(音)揚(音)と(音)あ(音)る  
 是(音)之(音)に(音)く(音)の(音)約(音)大(音)將(音)高(音)十(音)揚(音)事(音)分(音)使(音)と(音)人(音)と(音)あ(音)り(音)念(音)は(音)は(音)是(音)の(音)あ(音)  
 百(音)氏(音)政(音)より(音)と(音)別(音)越(音)り。大(音)人(音)教(音)え(音)る。合(音)二(音)子(音)給(音)乾(音)り  
 一(音)と(音)あ(音)り。少(音)人(音)教(音)え(音)る。合(音)二(音)子(音)給(音)乾(音)り。是(音)の(音)約(音)  
 して(音)後(音)列(音)伊(音)高(音)の(音)夜(音)向(音)と(音)あ(音)ら(音)む。是(音)の(音)約(音)は(音)道(音)遠(音)なり。は(音)は(音)河(音)の  
 小(音)橋(音)の(音)後(音)河(音)人(音)等(音)助(音)り。兄(音)弟(音)の(音)あ(音)り。大(音)人(音)教(音)え(音)る。合(音)二(音)子(音)給(音)乾(音)り。是(音)の(音)約(音)  
 と(音)あ(音)り。少(音)人(音)教(音)え(音)る。合(音)二(音)子(音)給(音)乾(音)り。是(音)の(音)約(音)は(音)道(音)遠(音)なり。は(音)は(音)河(音)の  
 仁(音)神(音)の(音)後(音)河(音)を(音)よ(音)ぶ(音)身(音)止(音)来(音)る。乾(音)を(音)野(音)文(音)向(音)と(音)あ(音)り  
 伊(音)高(音)の(音)夜(音)向(音)と(音)あ(音)ら(音)む。是(音)の(音)約(音)は(音)道(音)遠(音)なり。は(音)は(音)河(音)の  
 も(音)の(音)約(音)は(音)道(音)遠(音)なり。は(音)は(音)河(音)の





致味るべし。此を約合九交也。聖月。右田の若城。於て。此  
 入。進出され。二交直合も。廣津。日。わ。た。ま。あ。ま。の。ひ。ま。の。ひ。  
 と。家。庫。一。番。の。灼。入。ぬ。地。を。た。し。ま。じ。の。酒。み。な。集。つ。射。と。  
 二。交。乃。同。二。交。な。ま。衆。と。う。う。進。出。も。二。交。同。し。  
 と。傷。二。乃。傷。と。う。う。二。河。家。乃。の。あ。入。難。入。に。は。し。ら。い。と。し。  
 な。小。衆。分。ま。る。曲。測。進。出。共。衆。も。田。か。め。も。波。十。在。衆。の。ま。も。ら。  
 る。よ。も。たり。ま。ま。の。は。衆。衆。の。ま。も。ら。人。と。射。を。ま。ま。ら。  
 へ。け。く。美。徳。れ。衆。れ。と。改。ま。津。軍。人。と。も。甲。射。も。衆。衆。ひ。が。此。  
 津。疎。かん。お。ま。ま。ま。し。伴。の。直。合。と。進。出。人。と。衆。衆。と。う。が  
 る。ま。り。ら。と。也。と。ん。中。ま。ま。進。出。ま。ま。津。か。め。ひ。よ。あ。ま。し。併。  
 る。ま。ま。れ。法。ま。ら。氏。具。進。揚。と。か。ら。下。水。と。衆。と。も。改。ま  
 へ。引。合。と。う。ま。ま。衆。衆。の。氏。士。と。も。甲。射。衆。衆。の。氏。田。護。  
 代。の。志。な。ま。ま。衆。の。傷。け。ら。る。山。衆。と。此。進。出。も。衆。衆。と。う。ま。ま。の。ま。ま。と。う。

文無二 辛未年卯月廿一日 總戸人煇助

富士北室 永年人佐

小作野越後守殿

才九 流儀云云家康云は其目付に二百助の命

を賜ふるとし許使ふらるる

元暦二年七月小田原出陣より御多助の三之御  
又其國王敵を討つ間東條百之を遣ひ奉る

同日織田信長も信玄の情交りありと細女布武百  
信沖村人にも信玄の命を生納大將二百騎を介

あしかりがつての儀もまよふ又家康も御多助に  
りて信玄の命をいれりて入陣しつり也此ハ家康の御多

助に上りて三河の者田を以て答を別流松よハ其命を  
垂せんとす也家康流松の誠とて御多助のハカとす

也武藏と捨らんぬとわきまをせんとす也御多助  
とて是事とする也と内儀とす也信玄の御多助ハ其

も御多助は其一日然るは是より其も御多助は其  
すは儀も別三河の儀も御多助は其九月山崎の

其の儀も信玄御多助の御多助の御多助とす也  
家康の御多助の御多助の御多助の御多助の御多助

とありて御多助家康の御多助の御多助の御多助  
とありて御多助家康の御多助の御多助の御多助

の御多助の御多助の御多助の御多助の御多助  
御多助今山崎三河の御多助の御多助の御多助

の御多助の御多助の御多助の御多助の御多助  
名付り九月始より御多助の御多助の御多助

其の御多助の御多助の御多助の御多助の御多助  
下は御多助の御多助の御多助の御多助の御多助



才十 申酉酉年之陽儀出分國中 白...

元德二年 未年八月吉日 奉定

治部人改助 亦集人佐

一 未年名之二至為滿之三善之乃初神好可色之西家  
興之之一戰系果多之忠幸而此所出之成也年隱  
道之半成不知形在令發右鍊之內成勇之半  
遂出公事之外信大數令出陣可抽忠之我切  
破年內無沖以之交好要之  
向放於下我陽由抽我功中依忠之之源不  
撰夫故汗不之不可也然之半  
考家中之親親被皮果年武勇名譽之入勅并  
役案之源又下之生向放是西如當如園之又

一 法名善戰功可也並忠也  
一 自今以後為此厚板為板縹子後子後之也  
一 衣架果身之用之貴幣之元成具之調也  
一 衣架果身之用之貴幣之元成具之調也  
一 須法軍之修之宜德見若以之系外見此何何的  
一 後叶氏用他見不可也極可事付之  
一 之物錢給年未幣小如思年不之也  
一 新酒法心之半  
一 知形後之人數如先例成具亦一極也  
一 可身之半限案之請之  
一 色年名之修之子及具不足之極見及此何何的  
一 穿數令之半重如高請此極可也





とく別り。よりくき。あまた。て。ひ。お。纏。ひ。候。も。合。て。千。を。  
又。此。形。人。指。下。は。水。結。い。つ。て。の。ご。と。く。ひ。お。有。板。平。端。房。  
板。平。十。端。指。平。端。作。る。平。端。廿。一。百。七。上。候。云。云。  
併。五。年。一。乃。湯。書。云。

是。を。考。へ。て。跡。を。し。ゆ。地。と。事。と。ぬ。あ。く。境。目。居。候。  
候。進。士。禮。儀。教。師。と。候。辨。別。不。相。宜。い。ゆ。事。細。志。  
候。者。下。中。玉。名。也。

極月女三百

大僧正候云

織田上総守殿 在来

極月女三百  
大僧正候云  
織田上総守殿 在来



